

人にも環境にも優しい！ 私たちの生活に欠かせない足



今日はつぶちゃんと社会科見学！地域の足として大活躍の「東武バスセントラル株式会社三郷営業所」さんに遊びに来たよ♪



こちらの営業所が管轄するエリアのバスの乗客数は、1日およそ9000人！ハイブリッドバス1台を含む27台のバスが在籍し、42名の運転士さんたちが交代で、三郷駅・新三郷駅・三郷中央駅などの駅間と住宅地を結ぶ生活密着型のルートを運行しているよ。

また、天候不良や事故などで鉄道網が乱れた時の“振替輸送”を担うなど、私たちになくてはならない生活の足なのだ。

多くのお客様を乗せるからこそ、安全に対する取り組みは最重要事項。

例えば、実際の運行ルートで運転士さんが「ヒヤリ」と感じた危ない場所を「ヒヤリマップ」で“見える化”し、事務所内に掲示してみんなで共有しているの。



また、毎月の安全スローガンや、乗務への意識向上を促す掲示物があちこちに貼られていて、それを見ながら朝礼や点呼が行われているの。

運転士さんの健康状態も毎日きっちり確認。特にアルコールチェックは厳密！微量のアルコールも逃さず検知する専用の機械で、必ずチェックしているよ。



それから、ホームページではバスの現在位置を検索できるサービスが提供されていて、利用者の利便性が考えられているんだね。



地域活動への協力も積極的に行なっているの。毎年2月に開催される「みさとシティハーフマラソン」では、近隣駅からの参加者の輸送を担当しているんだよ。



また、2018年には新和小学校と幸房小学校で「バスの乗り方教室」を初開催。バス上部に行き先を表示する「方向幕」に自分の小学校名が書かれたバスが登場して児童は大興奮！

整理券の使い方や運賃の払い方などの乗降方法の基本を学んだり、実際に運転席に座ってバスの死角を体験し、バスのすぐ前を横切る危険性について学習したりしたんだって。

他にも、バリアフリーのノンステップバスを導入するなど、東武バスにおける障がいのある方への対応や、一台で大人数を運ぶことができるバスの利用は環境を守る取り組みに繋がる、ということを学んだそう。

児童からは熱心な質問が飛ぶなど大好評で、他の小学校での開催も計画しているそう。



便利に安全に生活をサポートしてくれる東武バス。さらに愛着が湧いたね、つぶちゃん♪